

## <2012年 青森りんご狩りツアー報告>

保養担当 中島 恭子

皆様の御祈りと御協力により、今回の保養プログラムも無事に終えることができました。これまでの保養支援も、皆様の御祈りに支えられてのことと、深く感謝しつつ、報告をさせていただきます。

(日時) 2012年11月3日～4日

(目的) 福島の子供たちや御家族に、本場青森のりんごの収穫体験をしてもらい、新鮮なりんごをたくさん食べて、心身共にリフレッシュしてもらいたい。

(参加者) 9家族30名(子供20名、大人10名) \*他、同行スタッフ10名  
(青森から5名と諸教会からの食事等の協力を頂き感謝でした。)

(宿泊場所) 青森クリスチャンセンター

(日程)

11月3日 7:30 郡山イオンタウン集合  
8:30 福島市四季の里集合  
12:00 途中SAで昼食  
15:00 浅虫水族館  
17:00 青森クリスチャンセンター到着  
18:00 夕食  
19:30 入浴タイム  
21:00 子供たち就寝  
22:00 ティータイム(食堂で自由に)  
23:00 大人の方も就寝

11月4日 7:00 起床・部屋の片づけ  
7:30 朝食  
8:30 バイブルタイム  
9:15 りんご狩りに出発  
10:00 りんご収穫体験(浪岡アップルヒル)  
11:00 フリータイム  
12:00 福島へ出発(途中SAで昼食)  
19:00 四季の里到着  
20:00 郡山イオンタウン到着

\*多少時間の変更はあったものの、全体的に守られ無事終了。

(当日の様子)

- ・心配していた移動時間とお天気でしたが、3日の浅虫水族館のイルカショー、4日のりんご狩り収穫体験共に、天気も移動時間も最善に守られ、無事に行うことができました。
- ・東北で唯一のイルカショーですが、「待った甲斐があった！」という声も聞かれるほど、子供も大人も大喜びで、イルカショーに夢中でした。  
「可愛いイルカに癒されました！」と感激する方々も多くいました。
- ・子供たちには、海の生き物に触れられる「タッチコーナー」が、大人気でした。
- ・浅虫水族館の館長さんは、これまでも福島の子供たちの見学を受け入れておられ、今回もとても温かく迎えて下さいました。水族館の館長会議で、いわき市の水族館では、なかなか入館者が戻って来ない現状とのお話も伺いました。
- ・青森クリスチャンセンターに移動後、夕食と入浴を済ませ、夜、子供たちが休んでから食堂で、ゆっくりお父さんやお母さんとスタッフも一緒にくつろぐことができました。
- ・4日は、移動時に秋雨がぱらついたものの、収穫体験は、時折、青空も見え、皆さんとても喜んで収穫し、さっそくおいしい取れたての新鮮なりんごを食べて感動していました。
- ・りんご農園の方から、りんごは、雨の後の方が、みずみずしくおいしいりんごが食べられると聞き、りんご狩りには最善のお天気だったと感謝する声も聞かれました。
- ・今回の参加者の中にリピーターの方が、2家族おられました。初めての方々はじめ皆さん、「楽しかった!」「また、青森に来たい!」という声を聞くことができ、感謝でした。

(良かった点)

- ・青森での保養のリピーター家族がいたので、皆さん、わからないことは、情報交換しながら行動でき、初めての子供たちや家族も、安心感があったようです。
- ・3日夜のティータイムは、子供たちも程よく疲れてぐっすり眠り、スタッフが、保養ご家族の中に入って、ゆっくり傾聴できたことが、とてもよかったという感想でした。  
今回は、医師の吉松先生ご夫妻も参加して下さい、障害のお子さんを抱えた父母はじめ、いろいろ気軽に相談できてよかったです。
- ・食事の他に、食堂に置いたおやつのにんごが、あっという間に無くなり、大好評でした。
- ・今回のプログラムは、イルカショーで心癒され、体に良いとされるりんごをたくさん食べ、アップルヒルで青森産の安心できる野菜や果物を、お母さん達が喜んでお買いものする姿が見られ、本当に楽しんで喜んで下さったことを嬉しく思いました。
- ・青森で保養された御家族の中で、避難先の教会に集うようになった方々がおられます。教会の牧師夫妻に連絡を取り、フォローさせて頂きました。子供たちも、教会学校のプログラムに喜んで参加し、聖書のみことばも熱心に暗唱していることを、お母さんから伺いました。原発事故の影響は、避難後も続き、子供たちは円形脱毛症になり、他にも同じ症状を多く耳にするとのことでした。続いて、お祈りさせて頂きたいと思いま

した。今回、バイブルタイムでの聖書のお話もよかったと感謝のメールがありました。

- ・福島と福島以外の保養地、今回は青森をつなぐ働きを、布山先生とこの者が協力してさせて頂いていますが、保養回数を重ねる毎に、お母さん方はじめ保養ご家族との信頼関係が深まり、保養の際も、安心して参加して下さっていることを感じます。保養場所を広く開拓することも必要と同時に、いつも知っている人（同じ人）が、待っていてくれることも、不安を抱えている子供たちや御家族にとっては、大きな安心感につながることを、今回参加されたお母さんと御家族、子供たちの言動から、あらためて感じさせられました。

#### (検討事項)

- ・移動時間が長いので、到着日の最終イルカショーに間に合うかどうか、気をもみました。共働きの御家庭は、特に、土日祝日でないと出かけられない事情もあり、どうしても、高速道のラッシュが懸念されるので、検討事項かと思えます。
- ・今回大型バスを利用しましたが、青森クリスチャンセンターの玄関まで入れず、先生方の車でピストンをしたり、元気な方々には、徒歩でセンターまで移動して頂きましたが、雨が止んでいたのも、幸いでした。  
「かっぱの湯」の温泉での入浴を楽しみにしていましたが、バスの乗り入れができないことや寒気のため、予定を変更してセンターでの入浴になりました。  
バスの乗り入れが玄関までできないため、雨天時の場合や入浴のことなど、今後の課題です。
- ・常勤の管理人や調理スタッフなどがいないので、その都度、検討し準備する必要があります。ACC 理事会での検討もお願いしていますが、良い形で整えられればと願っています。

(その他) 名簿と会計報告は、ふくしま HOPE で取り纏めて下さいました。

☆今回は、ふくしま HOPE プロジェクト、東北ヘルプ、3. 11 あおもり教会ネットワークの連携支援として行われましたが、御協力下さった皆様に心から感謝致します。  
また、長時間バスで同行下さった朝岡先生や布山先生、本当にありがとうございました。

☆皆様のお祈りと御協力を頂き、事故やトラブルも無く、今回最大のプログラムのイルカショー見学とりんご収穫体験を予定通り、恵みの内に行うことができました。  
ちょうど一年前の11月、東北ヘルプの秋山先生、三枝先生、川上先生が、青森の来られ、3. 11 あおもり教会ネットワークとの話し合いで、「福島の子供たちに、青森のりんごをいっぱい食べさせたい！」という御声があり、皆様のお祈りの内に、今回一年越しの願いがかなったことを心より嬉しく感謝でした。

本当にありがとうございました。

参加された方々からの御礼のメールと写真を添えて、報告とさせていただきます。

感謝在主。